

# 思ひ出

一四

大和郷幼稚園 坂内 ん ツ

失敗談を書けさいふ珍らしい嚴命を受けました、失敗した事は數知れず何から先きに書いてよいか一寸迷はざるを得ません、今思ひ出すまゝに赤裸々な失敗を書いて皆様の御同情ご御判断を願ふ次第であります。

## 一、新入幼児の取扱ひ

大きい抱負を抱いて幼稚園に奉職はしたものの、幼稚園についての勉強は極めて淺い、四年生の時安井先生から保育、倉橋先生から十回講義で兒童心理をお習ひしただけ、實習ミいへば僅かに六週間わからないのも無理のない話、殊に大きい組を持つたので小さい組の事なきてんでわからな、い、しかも自分では一ミかきの保育者氣取りであつた、處がいよく、新入生一ミ組四十人を受持たされて見るこさうして、泣き度い事ばかりである、中にも氣が弱くて附添からはなれまいとして毎日、泣く〇さんがあつた、寢て

も醒めても〇さんの事ばかり考へて居る、毎朝お掃除をして居ても玄關の方にはばかり氣が取られる、一聲〇さんの聲を聞くミ雑巾も箒も投げ出して玄關に飛び出しすぐおんぶして二十分位歩きまはり雞や鳩に御機嫌がなほる、其後はさして困りもしない、毎日これを繰り返して二ヶ月以上もつづいた事でせう、其間に時には手こずることがある、鳩を見せても雞を見せても何の話をしても機嫌がなほらず「先生馬鹿々々」の連發、三十分も四十分も時ミ精力を費しても物にならず本校の花壇邊迄遠征して時間を費さねばならぬ、其幼児一人に取つては親切なやり方かも知れないが後の三十九人をさうするか。幸にお茶の水では實習の人が多ので無事なるを得たのであるが、今日から考へて見れば愚な話、何も無理に泣かせて多くの人に迷惑をかけるに及ばぬ、附添の人に少し附いて居て貰つて機嫌を直してか

ら引きこつてもよいではないでせうか。

一、特別な子供の取扱ひ方

興奮し易い子供を取扱ふのに大人が興奮しては落付かせることが出来ない、ますく興奮させるばかりだこは知りつゝもあまりあばられるこ逐ひ強い態度で對したくない、或時女のお兒さんが友達と喧嘩をはじめ亂暴をはじめた、日頃からこ變つた處があるこ注目して居たので此時こそ強く抑へねばならぬこ思ひ強く叱つた、處が俄かに興奮して私の手に爪をたてみゝす腫れになり血さへ見えた、手を抑へるこ足で蹴る、抱いてしまへばよいこ思つて抱けば髪の毛をむしる、其様子を他の子供に見せ度くないこ思つて人の居らぬ處に連れていつたがいくらか見た人もあつたこ見え翌日わざ／＼母親が見えて詫びられた。其時の恥かしさ自分の取扱ひ方の拙い爲めに子供にいやな記憶を残し、母親に心配をかけ申譯のない事をしたこ後悔しても取かへしがつかぬ、元より雙方惡意あるわけではないがあまり責任を感じ過ぎ、かたくるしく考へ過ぎる爲めではないでせうか、もつこ穩かに氣永に導けば矯正の出来ないわけ

はない、殊に女兒は年頃になれば靜まるので、惡意さへなければ亂暴だ位の事は氣にするには及ばない事と思ふ。

一、あせり過ぎる

保護の多過ぎる子供は附添からはなれたがらぬ、それはなれさせやうとするのが何よりの仕事のやうに考へた時代がある、其頃も検定をして入園を決定するこはいふもの今の検定方法は趣を異にして居たので入園して見ればはなれにくい人が一組に二三人は必ずあつたものだ、其場合むやみに自分を責め誠意が足りないからだ方法が拙いからだこ苦んだり、又親の理解がない附添人が氣が利かぬこ人の事まで悪くいつてやきもきするには當らないこ思ふ、何しろ自分の家より外に出た事のない子供が急に幼稚園の生活にはいつては、如何に刺戟の少いやうにこつこめても家に居る時違はぬ氣易さで居れこ聞かせられても出来るものではない。大人でも急に知らぬ世界にはいつては思ふ事はいはれずきまりの悪い思ひをするに相違ない、子供だからこ一日や二日で順應して行けるものではない、あせるには當らないこ思ふ、教育は永續的のもので効果の見え

る事が極めて遅い、そこが飴細工やしんこ細工と違つてむづかしい所である、僅か一ヶ年や二ヶ年で子供の素質を改造しやうなごまは大それた話にも程がある、まして幼稚園に居る時は健康な機嫌のよい数時間だけで全部を見て居るわけではないのである、それを入園後一二ヶ月で幼稚園に入れても何も覚えませんが、剛情もなほりませんと訴へたり、甚だしきはこんな悪い習慣がついたなごま抗議を申込むやうな親もある、氣永にゆるく親から教育してかゝらねばならぬ、しかし効果が見えにくく努力を惜しむの意味ではない、そうした事を訴へて来る親は先生を信じ幼稚園の効果を過信して居るのでむしろ氣の毒である、其熱心も買つて上げ其言を尊重して反省の資としたいものである。

### 一、落葉掃き

元のお茶の水のお庭は樹木が多くて有難い代りに落葉の多いのは實に有難くなかつた、毎朝大人も子供も箒のさばきも忙はしく落葉をかき集めねばならぬ、教生に出たのは十一月盛んに葉の落ちる時であつた、毎朝箒の取り合をして一心にはき清めたものだ、或時まだ充分運び去らぬ内に

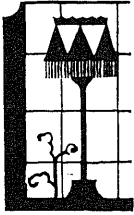
會集の知らせがあつた、一寸考へたが自分は教生である先生も御出になるし教生も一組には五六人ついて居るのであるから自分一人居らんでも何事もないそれよりもこの落葉を運んできれいに置いて子供を遊ばせる方がよいと思ひ少し後に残りせつせと働いて居た、たまく安井主事のお目に止り勤勉だごおほめになつたそうである、それは後でかされた事であるが其時考へて見た尙奉職してから再び考へて見た、其幼稚園、其組に於ける役割によつて判断せねばならぬ事である、この時としては賞讃に値して居たかも知れぬ、安井先生は其精神をほめて下さつたのであるがこうした事は常に取るべき方法ではあるまいと思ふ。

### 一、諧謔さふさけること

母として我が子に對し責任を感じない人はないがやゝもすれば感じ過ぎるのあまり、かたくるしくなつて子供らしい滑稽を理解せず一々角をつけて小言をいふ人が多いやうに思はれる、一般の婦人殊に主婦にもう少し滑稽を理解しやれの通る人が多くなつたら現在の家庭はもつと明るく朗かになるではないか常に痛感して居る、私の園にもこ

うした型にはまる家庭があつた幸福な家庭ではあるが母親があまりにかたくるしく考へ過ぎるやうで道草のために少し歸りがおそいといつては小言をいひ、誤つて白墨のかけをポケットに入れて歸つたといつては重大視して大きき恰ら盜僻でもあるかのやうに子供を責め立てる。

こいふ風で、あまり嚴格過ぎていぢけはしないか心配して母親にも注意した、其子供には特に朗かに對し喧嘩でもして居る時は自分も滑稽な気分になつて大手を擴げて間にわつて入り兩方を笑はせてしまふ、又何かむづかしい顔をして不平らしい時には面白い話をして笑はせるこいふ風につまめた、考へはたしかによいのであるが子供が幼稚園に馴れて來るに従つて諧謔的氣分が通り越してふざけるやうになつた、ふざけるのにも種類があるが度を越してはいけないこれなたしかに最近に於ける失敗の一つである。



今度の思ひがけない關西地方の大風水害では多數の幼稚園が非常な被害をこうむられました由、誠にお慰めの言葉もございません。その地の皆様にはもう雄々しく復興の爲においそしみの御事と存じます。何卒お健やかにおすごしの程をお祈り申し上げます。

本會からは大阪、京都、神戸、岡山の幼稚園へ心ばかりのお見舞ひをお送りいたしました

昭和九年十月

日本幼稚園協會